

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	LARS（Low Anterior Resection Syndrome：低位前方切除後症候群）のリスク因子とその臨床学的影響
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）消化器外科講座 （職名）助教 （氏名）國友愛奈
研究の対象となる方	2016年4月から2025年3月までに直腸癌と診断され、肛門が温存される術式（直腸低位前方切除または高位前方切除）でリンパ節郭清を伴う根治切除を施行された患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 研究により LARS の発生率の減少や治療向上を目的としています。</p> <p>〔利用方法〕 電子カルテから得られる患者さんの情報・治療内容及び経過を調査し、データを解析します。ご協力いただいたアンケート結果も利用します。なお、研究計画書及び研究の方法に関する資料は入手・閲覧可能です。希望される場合は、当院消化器外科にお問合せください。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：患者さんの年齢、性別、腫瘍の種類や特性、手術日、手術内容、周術期の薬物治療、術後合併症有無やその経過、再発など術後経過、アンケート</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年11月30日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：(職名) 助教 (氏名) 國友愛奈 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)